



図書館報 ぶらっつ★篠崎

2011・第65回読書週間標語

020号

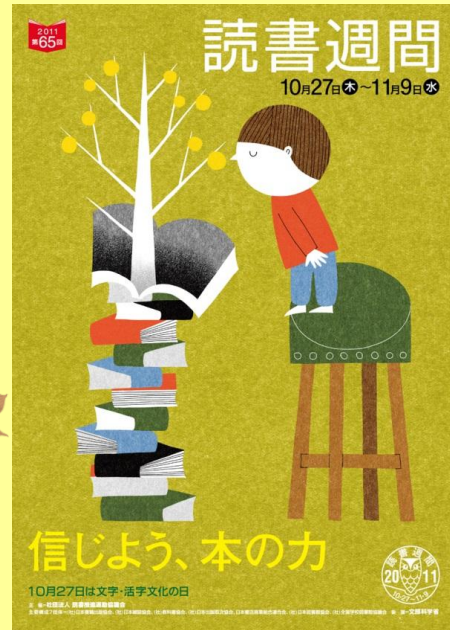


信じよう、本の力

- P1 スタッフのセレクション！ 「ワルツ」
- P2 特集 この台詞グッとくる！
- P4 江戸川まいにんぐ 「江戸川区と災害 ～江戸川区史から～」

10月27日から11月9日は、秋の恒例行事「読書週間」です。篠崎図書館では、読書の魅力を伝えるいろいろな企画や展示で、思いがけない本との出会いをお届けします！

期間:11月1日(火)～11月30日(水)



「ひと言選書」

ミニ特集コーナーに、本の中の印象的な一節を印字したカードをご用意します。その中から気になるものをお選びください。カウンターにお持ちいただくと、その本を貸し出しします。いつもなら手に取らない意外な本との出会いがあるかもしれません。

書架展示「本で巡る旅」

“本で巡る旅”をテーマに、書架全体を巡り歩くことで、世界を旅する気分を味わえる展示です。

スタッフのセレクション! 第20回

「ワルツ」 上中下巻

花村萬月著 角川書店 Fハ1-3 中央ほか所蔵

セレクション20回目の区切りに当って、どの本を紹介するか非常に迷いましたが、この「ワルツ」を選んだ理由は、私が図書館にお世話になる前の職場での事でした。

濫読の果て、自室の本棚に入りきれなくなった沢山の本を、知っている人に再利用してもらいたいと考え、職場の書類棚を2-3段空け、同僚に自由に読んで貰えるよう提供致しました。その中に「ワルツ」の上巻が入っており、それを読んだ1人が「続きが読みたいので何時持ってきてくれるのか? 家ではカミさんも読んでいます」と云ってきたのです。わざわざ督促にくるほど面白いと思ってくれたことが嬉しかったと同時に、本を人に届ける喜びの一端を知った気が致しました。今思えば、私にと

今回は、岩佐館長の選んだおすすめ本を紹介します。



って図書館員になるキッカケだったかもしれない一冊を、今回ご紹介したいと思います。

著者は、一種独特の世界を描くという印象がありますが、この「ワルツ」は戦後間もない荒廃した新宿を舞台に、随所に史実を織り交ぜながら展開します。ドロドロとした人間の本性を剥き出しにした想像を超えるストーリーに、知らず知らずに巻き込まれてしまいます。

「ワルツ」は、特攻崩れの一匹狼的なヤクザと明晰な頭脳と美貌で上昇志向の強い朝鮮人、九十九里から東京へ流れてきた娘が、互いに関係しながらまるで運命のワルツを踊っているような物語です。是非一読願えたらと思います。

イベント情報

お問合せ:篠崎図書館 (03-3670-9102)まで

ライブラシネマ篠崎 10月22日(土) 14:00～16:00

「サボタージュ」 (1936年、イギリス)
監督:アルフレッド・ヒッチコック

講演会 10月23日(日) 14:00～15:30

「知りたい! 戦国武将～宇喜多父子の虚像と実像に迫る～」
講師:渡邊大門(歴史学者) ※申込制

「関ヶ原」
上中下巻
司馬遼太郎著
新潮社
BFシ1-3
篠崎ほか所蔵



大将は、部下より多く給料を貰っている。だから、血へどを吐いても働くという三成のストイックさに感銘を受けました。人の上に立つものは、このぐらいの覚悟を持って、仕事に臨まないといけないなと感じました。

※「主人が働いているのに、私だけ休めません」と言った部下に対して、石田三成が言った台詞。

「わしは、大将である」

「五体不満足」
乙武洋匡著
講談社
B289オ
篠崎ほか所蔵



「母は偉大だ」という言葉を実感させる一言でした。ご両親だけでなく、乙武さんの周りの方々は、人間とは本来優しい生き物なんだ、という事を改めて教えてくれました。

※乙武洋匡さんのお母さんが出産後一カ月にして、初めて手足のないわが子に直面したときの第一声。

「かわいい」

「硝子戸の中」
夏目漱石著
新潮社
B914ナ
篠崎所蔵



本当に当たり前なことだが、その当たり前の感覚を漱石は人気作家になった以降も変わらず持ち続けた。だから私は彼の作品が好きなんだな、と納得できた一言。それ以外にも彼の死生観・性格がよく伝わる随想集。

※人生相談に来た近所の女性が、帰りに「先生に送ってもらおうのは勿体ない」と言ったのに対して返した漱石の言葉。

「勿体ない訳がありません。同じ人間です」

「パンセ」
パスカル著
中央公論新社
B135ハ
篠崎所蔵



弱さは人間の最大の素晴らしさである。この言葉を聞いて、自分の弱さが恥じるべきものではないことを知り、心が軽くなりました。それからは、弱点をきちんと理解して受け止め行動していこうと前向きな気持ちになりました。

※パスカルの人間観の一つである、「人間は考える葦である」に関連する言葉。
「人間の偉大さは、人間が自分の惨めなことを知っている点で偉大である。樹木は自分の惨めなことを知らない。」

江戸川まいにんぐ 発掘 第20回 江戸川区と災害～江戸川区史から～

今回のまいにんぐは少し趣向を変え、過去の災害を遡ってお伝えします。

江戸川区は、昔から度重なる洪水や高潮に悩まされてきました。また明治以降震度6以上を観測した地震も、明治27年と大正12年の関東大震災と2回記録されています。こうした記事は「江戸川区史 第3巻 災害編」に詳しく書かれ、今回の東日本大震災に似たような惨状も多く記録されています。大正6年の大雨では、「……風最も瘁猛を極め、瓦石を飛ばし、樹木を挫折し、家屋を吹潰し、船舶を破壊し、野に荒れ海に狂ひ、げに物凄き光景……」な

参考文献 「江戸川区史 第3巻」 江戸川区区史編集室／編
「地震防災マップ」 江戸川区土木部災害対策課／編

K1-21-3 篠崎ほか所蔵
K1-36 篠崎ほか所蔵

江戸川区内のイベントやスポットをスタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

どと記され、まざまざと自然の恐ろしさを思い知らされます。東日本大震災から半年が経ち、東京ではだいぶ落ち着きを取り戻した反面、日々の緊張感は徐々に薄まっているように感じます。半年が経った今こそ「備えあれば憂いなし」。図書館所蔵の「地震防災マップ」などで、もう一度ご家庭の防災について見直すきっかけにしたいと思います。



篠崎公園の震災対策用応急給水施設です。この付近の広域避難場所にも指定されています。

編集後記

電力需給の安定が見込まれるため、9月5日(月)より夜間の利用を再開いたしました。皆様にはご不便をおかけしました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。今後とも篠崎図書館をよろしく願いいたします。

篠崎図書館スタッフ一同

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館
住所：〒133-0061
江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内

TEL:03-3670-9102
[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<http://www.shinosaki-bunkaplaza.com/library/>
司書のブログ「BLOGしのぎ記」更新しています！